

教育目標
みずから生きる
ともに生きる 日吉台の子

ひよじだい

「ミスカラぶんかちゃん」と「トモニぶんかちゃん」といっしょに…

校長 二瓶 庄吾

新年度が始まって約二か月、子どもたちは新しい環境にも慣れ、落ち着いて学校生活を送る姿が多く見られるようになりました。授業に真剣に向き合う姿や、友だちと協力して活動する様子からは、それぞれの成長が感じられます。これは、本校の学校教育目標のめざす姿でもあります。ここで、あらためて日吉台小の「学校教育目標」について考えてみたいと思います。

『みずから生きる ともに生きる 日吉台の子』

みずから生きる…自分で考え、自分で選び、自分の力で歩いていくことを表しています。子どもたちが受け身になるのではなく、「やってみよう」「考えてみよう」と思えるような学びを大切にし、思い通りにいかないことも大切な経験として前向きに捉え、たくましく生きる力を育てていきます。

ともに生きる…人とかがわりながら生きる力です。学校は、いろいろな人と出合いかわる場です。友だちと教え合ったり協力したりして、課題を解決しようとする力を育てます。また、様々な活動や対話を通して、違いを認め、その違いも大切にするなど、多様性を大事にし、思いやりをもつ心を育てていきます。

これからの社会を生きる子どもたちには、「自分らしく生きる力」と「人とともに生きる力」この両方がこれまで以上に大切になってきます。この学校教育目標の実現に向けて、保護者・地域の皆様とともに、子どもたちの成長を支えていきたいと思っています。

ただ実際には、「学校教育目標」というと、ちょっと難しいと感じてしまったり、普段から意識することがなかったりすることもあると思います。

そこで、日吉台小キャラクター「ぶんかちゃん」の、新しい2人のお友だちを考えました。

ミスカラぶんかちゃん

「みずから」の響きから「水」をイメージしてデザインしました。

おなかにはたくさんの星が輝いています。色も形も大きさもみんな違って同じものはありません。すべての星が自分らしく輝いています。



水滴が水面に落ちた時にできる王冠のような「水冠」で、主体性や自尊心を表しました。

「ともに」手を取り合い、あたたかくつながるイメージでデザインしました。

トモニぶんかちゃん

頭には、手をつないで仲よしになる「あったかハート」を描きました。

おなかには、いろいろな色や大きさのリボンがつながり、ひとつのリボンになって広がっています。

